

# 福祉こいと

第13号

編集・発行 小糸地区社会福祉協議会 平成30年3月31日

## 平成30年春を迎えて

小糸地区社会福祉協議会  
会長 四塚 辰明

とても寒い日が続く年明けでしたが、皆様は良い年をお迎えになられましたか。

小糸地区の皆様には地域福祉活動にご理解いただき、日々ご尽力されておられます事、また君津市社会福祉協議会賛助会員に賛同いただきお礼申し上げます。

昨年の敬老会は大雨により実施することができませんでした。昨年卒寿（90歳）を迎えられた方は君津市で337名、小糸地区は35名（男性14名・女性21名）でした。卒寿の皆様がお生まれになった昭和2年は年号が変る激動の年であり、新たな元号を迎えた人々が、金融恐慌のなか不安を抱えながらも「モダンボーイ・モダンガール」が流行した年でもあり、人々がたくましく生きる力のようなものを感じます。

本年2月2日に第46回君津市社会福祉大会が開催され、標語コンクールで小糸小学校2名、中小学校3名、小糸中学校4名の方が優秀賞を受賞されました。改めてお祝い申し上げます。今回の標語は明るい挨拶を通し地域の輪を構築し一人ぼっちをつくらない思いが大きく出ていました。

小糸の子供たちの明るく力強い思いを頼もしく感じました。毎年小学校にて福祉体験学習のお手伝いをしていきますが児童もシッカリと学習していますのでこの学習を通して困っている人に声を掛けられる優しい子に育っていくことでしょう。

今年も敬老会やミニ敬老会など、多くの事業を予定していますのでふるってご参加ください。まだまだ冷え込む日があると思いますがお体をご自愛ください。

## ミニ敬老会

## 「花の公園」と成田山を訪ねたバスの旅



今年度のミニ敬老会は、千葉市の「三陽メディアフラワーミュージアム」視察、成田山参拝および新しくできた木更津市の道の駅「うまきたの里」を訪ねるバスハイクでした。暮れも迫った12月26日、総勢78名（一人暮らし高齢者54名、ボランティア24名）で実施されました。

フラワーミュージアムでは、真冬にもかかわらず各種の花と、花に関する展示がされており、暖かい館内でゆっくり勉強できました。次は成田まで足を伸ばし、豪華なお昼をいただき、一足早い成田山参拝をしました。お土産としてお付き合いのお返しに、「ようかん」や「鉄砲漬」を求める方が多かったようです。「うまきたの里」は農産物直売所と観光案内の機能を持った「道の駅」で、大賑わいの中で買い物を楽しみました。

ひとり暮らしの高齢者が増えていますが、ミニ敬老会を契機に声を掛け合う仲になっているようで、来年の参加を約束し合いながら帰りました。



（榎本）



# 交流グラウンドゴルフ大会

去る11月12日、中小学校グラウンドにてシニアクラブの皆さんと中・小糸両小学校児童によるグラウンドゴルフ大会を行いました。シニアクラブの皆さんが小学生にルールや打ち方を教えながら和気あいあいのうちに終了しました。入賞者は次の方々です。



### ◎高齢者の部

- 優勝 湊 芳雄さん
- 準優勝 川野 千里さん  
(昨年も準優勝)
- 第3位 川嶋 昌弘さん

### ◎児童の部

- 優勝 中小学校6年 竹内桃羽さん
- 準優勝 中小学校6年 松村杏咲さん
- 第3位 小糸小学校6年 齊藤まひるさん



競技終了後には小学校のPTAとシニアクラブの皆さんが作ってくれた豚汁が振る舞われました。心も体も温まる楽しい大会となりました。

## 児童のこえ

中小学校6年 竹内 桃羽

私は、今回のグラウンドゴルフ大会への参加は、去年に続いて2回目でした。5年生の時に初めてグラウンドゴルフに挑戦しました。その時はうまくできなかったけど、今回は調子が良く、ホールインワンをとりました。これは、一緒にグループだった地域の方がとても丁寧にコツを教えてくださいました。このグラウンドゴルフ大会で、地域の皆さんと交流ができてとても楽しかったし、良い経験になりました。6年生の良い思い出にもなり良かったです。

中小学校3年 村松 杏咲

2年生の時にグラウンドゴルフを始めました。3年生になって初めて2位になってとてもうれしかったです。みんなで仲良くできて、たのしかったです。また、おじいちゃん、おばあちゃんがやさしく教えてくれてうれしかったです。

小糸小学校4年 齊藤 まひる

私は、3年生の時からグラウンドゴルフに参加しています。4年生になって初めて3位に入賞しました。初めて出場した時も今回もホールインワンをだせたのが、とてもうれしかったです。

本番前、自分に「がんばれ」と言い聞かせたからかなと思いました。日頃お世話になっている地域の方々と一緒にグラウンドゴルフをすることでとても楽しい交流ができました。



## 小糸小学校福祉体験

5年生を対象に福祉体験学習が開かれました。講師に山田笑美さんを迎え、市社会福祉協議会や個人ボランティアの方々の協力のもと子供達は熱心に取り組みました。



5年 石川 優芽

私は、福祉体験を通して印象に残ったことが二つあります。一つ目は、視覚障害の体験をしたことです。目が見えないのに歩くと、自分がどこを歩いているのかわからなくて怖かったことです。でも、介助されるとどこに何があるか教えてくれるのでよかったです。二つ目は、山田笑美さんの話を聞いたことです。幼いころから障害があったのにあきらめないことに感動しました。これからは、福祉のことに興味を持ち、調べていきたいです。

5年 小池 奏良

ぼくは、車いすを使う前は簡単に使えるのかなと思っていました。でも使ってみるとカーブがとても難しかったです。歩行障害のある山田笑美さんがやっていたのを見ると、内側のタイヤを止め、外側のタイヤを動かしていました。簡単そうにやっていたけれど、ぼくがやってもうまくいきませんでした。介助する側になっても段差と坂道があると大変でした。困っている人がいたら、助けてあげられる人になりたいです。





## 戦争体験

私が高等科1年の頃、毎日のように千人針を縫っていました。千人針は戦地に出征する兵隊さんのお守りとして持って行ってもらいました。

千人針はサラシを手拭い大に切り、二つ折りにしてひと針ひと針心を込めて千人の人に縫ってもらうのです。寅年の人は年の数だけ縫う事ができました。虎は千里行って千里帰ると言われ縁起が良いからです。

私は寅年生まれなので何人もの兵隊さんの千人針を縫いました。

兵隊さん達は千人針を大事にしていたそうです。ところがお守りにしていた千人針にシラミがたかり大変だったそうです。しかし兵隊さん達はお湯で煮出したり石で叩いたりして千人針のサラシを大事に持っていたそうです。

戦争は2度と経験したくありませんが、他人の為に心を込めてひと針ひと針縫った千人針は忘れられない思い出です。

白駒 A・H

私は幼少時代、東京の御徒町(現在の台東区上野、御徒町駅周辺の地域)に住んでいました。両親は高砂屋というお餅屋を営んでいました。春に幼稚園入園を控えていた3月のこと、東京大空襲(昭和20年3月10日)に遭いました。

これは、東京の下町のすべてを焼き尽くした大戦災で、連合軍のB29戦略爆撃機が投下した焼夷弾で焼かれた街の炎で、隅田川沿いの市街地において10万人以上の方々が亡くなられております。

御徒町の自宅と店舗は焼かれてしまいましたが、私たち家族は幸い怪我人もなく、東京から脱出でき、他の多くの被災者と共に、千葉方面に母方の実家の君津の貞元へ避難したことを覚えています。

父親の実家は小糸の鎌滝にありましたが、長らく廃屋になっていましたので、両親は家族で住めるようにするため、荒れ放題となっていた元造り酒屋の茅葺屋根の家の大掃除をし、酒蔵が立ち並んでいた跡地が荒れた松林になっていたのを、サツマイモを植えるため畑に開墾し、全焼した東京の自宅の防空壕に蓄えてあった米や砂糖など食糧品の運び出しのため、東京と小糸を自転車で往復するなど、小糸での生活立て直しは多くの方々の助けを受けながらも大変な苦勞をしたようです。

東京のまちなか生まれの私には、つらく厳しい、明日の食事に困るような、とても貧しい農村生活の始まりとなったのです。

特に辛かったのは、なかよしだった幼い妹と病気で死別したことです。戦後の当時は生活することで精一杯で医療などは十分に受けられない世の中でした。現代では医療を受けられれば治る病気ですが、妹は百日咳を患って5歳で他界しました。

私は戦争がなければ、東京でずっと住み続けていたと思います。

戦争で焼け出されて、やむなく父のふるりの小糸に戻る事となり、戦争で人生が変えられた一人です。そろそろ、80歳も近くなってきましたが、今では田舎だった小糸も暮らしやすくなり、結果的に父の郷里を守り引き継ぐこととなったこの人生を受け入れています。当時は戦争に伴う耐え難い苦難を家族とともに体験いたしました。

日本が戦争をしていたあの時代から70年以上経ちましたが、孫達の世代にも、戦争のない平和な世の中を守り続けることが本当に大切に思います。

鎌滝 佐藤 勲

「こんにちは！

お変わりありませんか？」

今年度も75歳以上の独り暮らしの方へ給食サービスを行いました。自治会長や民生児童委員、地域のボランティ

アの方々が訪問し配達しました。また、のべ100人以上のボランティアの方が食事作りを担当しました。ご協力ありがとうございました。





# 小糸地区敬老会



平成29年度小糸地区で卒寿を迎えられた方は、男性14名・女性21名の35名でした。誠におめでとうございます。敬老会当日は台風の影響から中止とさせていただきます。雨の中、足を運んでいただいた方もお申し訳ありませんでした。今回は中保育園の園児さんたちがプレゼントを頑張って作ってくれました。卒寿の皆さんには民生委員のご協力をいただきお届けしました。今年も開催を予定しておりますのでお気軽にお出かけください。



## あいさつ運動

小糸地区社会福祉協議会では「あいさつ運動」を広めるためにタスキを作成し各学校に配布しました。



### 文芸らん

### 小糸俳句会

さえずりがまだ四角だと老いし人

渡辺 貞夫

朝六時月光々と春浅し

菊谷久美子

三度の飯食べる幸せ浅蜷汁

佐野 きく

うぐいすのぶつきらぼうに鳴いて朝

中里すま子

流水や眼光炯炯翔し鷺

名取 絹子

凍て夜空離陸着陸機の流る

仰木 孝代

## おしどり夫婦お祝い事業

二人合わせて150歳又は151歳を迎えたご夫婦に花束を贈呈しました。今年は22組のご夫婦にお届けしました。

今年、申請を忘れた方も来年申請できます。



**あとがき**..... 今年は平昌五輪が開かれ、史上最多の13ものメダルを獲得する事ができました。また日本人選手の思いやりや笑顔、礼儀の良さなどが注目されていました。2020年の東京オリンピックに向けて良い印象を残す事ができたと思います。東京オリンピックを成功させ世界中の人々が日本に来て良かった、オリンピックが東京で良かったと思ってくれるような大会になるよう頑張りましょう。 H